

まるっと体験!

保育の学校フェア

～保育士の仕事の魅力ややりがい～

西東京市 きたしば保育園
高橋由貴子



社会福祉法人聡香会 きたしば保育園

沿革

昭和56年（1981年）2月/法人設立

昭和56年（1981年）4月/きたしば保育園認可
都の認可を受け、保育園運営を開始する。

経営理念

子どもの『笑顔』と『自立』



01 保育士の業務とは

保育士の資格を取得するには…？

保育士までの道のり

🎓 ルートA：指定の養成施設
を卒業する（最短2年）

✍️ ルートB：保育士試験に合
格する（最短6か月～）

💡 保育園以外でも活躍の場は広がる！

認可保育園や認定こども園といった定番の施設から、**病児保育室、病院内託児所、さらには児童養護施設や放課後等デイサービス**といった福祉・療育の現場まで多岐にわたります。近年では**一般企業の託児スペース**など、活躍の場がさらに広がっています。

保育園で一日の流れ

7:00

- ・朝の準備
- ・登園対応

10:00

- ・お散歩
- ・午前の活動

12:00

- ・お昼ごはん
- ・お昼寝
- ・事務作業

15:00

- ・おやつ
- ・午後の活動

17:00

- ・お迎え対応
- ・保護者対応

19:00

- ・お片付け
- ・事務作業



※シフト制で勤務しています。

保育士は体力勝負！
連絡帳などの事務仕事
もあります！

02 保育士は専門職業家

保育士の定義（児童福祉法第18条）

専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者

多岐にわたる**専門知識**と**経験**を活かし、自己研鑽を重ねていきます！

専門知識領域

- 発達心理学
- 保育原理
- 生理学
- 栄養学
- 危機管理学
- 社会福祉学
- 音楽
- 食育学
- 文化/芸術



必要な現場経験値

- 安全管理
- 観察能力
- 多様性理解
- 保護者対応
- チーム保育
- 提案力
- 企画力
- セルフケア



保育はとても奥が深い！子ども達から多くを学べる魅力的な仕事です！

03 保育士のお給与事情



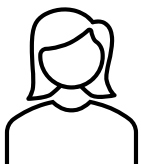
保育の給与は近年上昇傾向

深刻な人材不足を解消するために国が段階的に導入してきた「処遇改善等加算」や公定価格の引き上げが背景にある。

将来的にも保育士の所得増加が国家方針

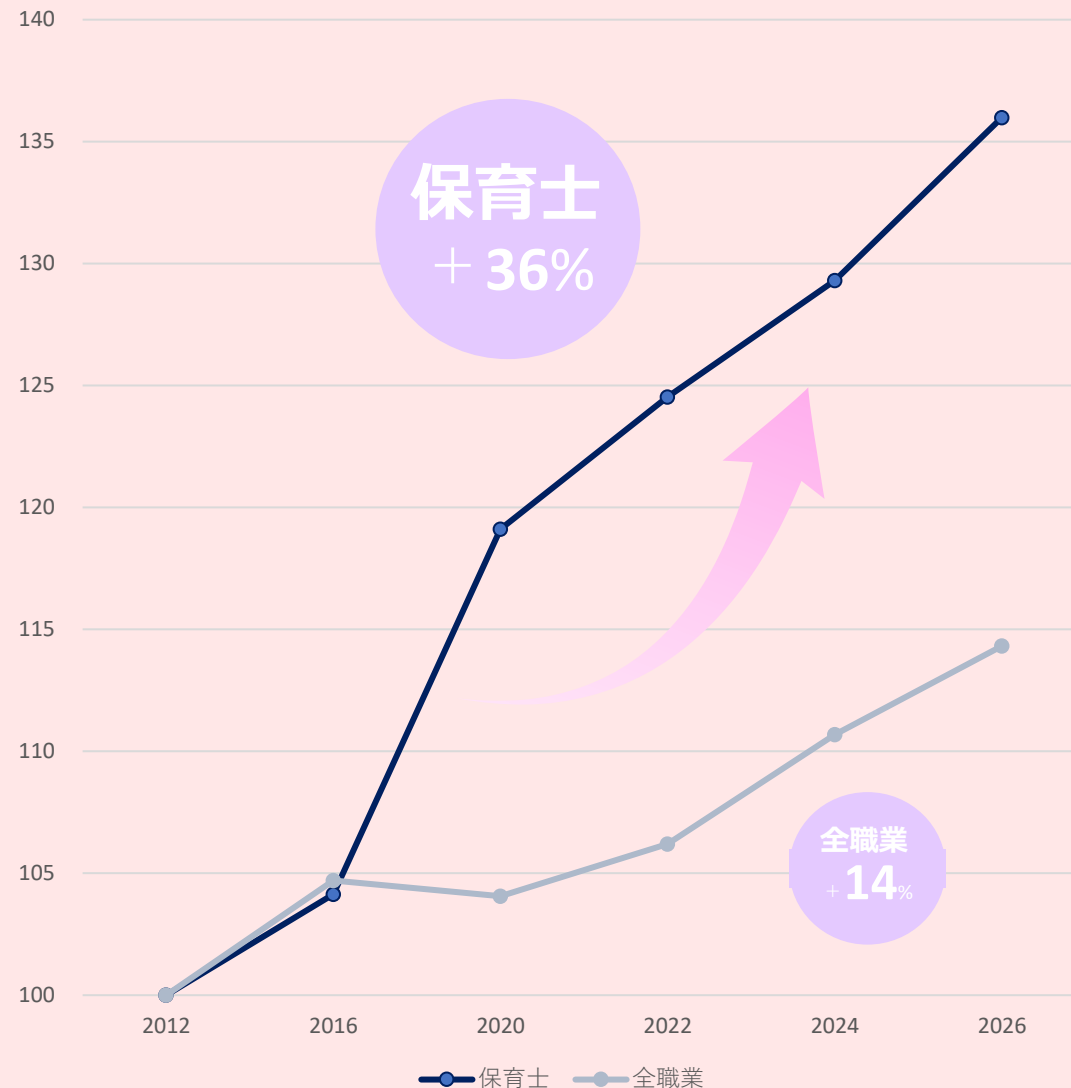
キャリアアップによるさらなる
上昇も期待可能！

- 医療保育専門士
- モンテッソーリ教員
- 食育アドバイザー
- 児童発達支援士
- 幼稚園教諭
- 社会福祉士
- ベビーシッター
- 絵本専門士
- リトミック
- チャイルドコーチング



子どもに関わっていく事で興味分野も広がっていきます。
子ども理解にも繋がり、スキルアップも出来る！

保育士所得の上昇率は全職業を大きく上回る



04 保育士のやりがい

結局保育士のやりがいってなんだろう？

それは、子ども達の成長を間近で体感できることです。**今日の子どもは昨日よりも成長し、明日はまた違った表情を見せてくれます！**



乳幼児期は、人としての基礎や人格が形成される大切な時期です。

その貴重な時間を子どもたちと共に過ごし、一人ひとりの成長に寄り添えることは、保育士だからこそ味わえる大きなやりがいです。子どもたちの未来を支える素敵な仕事に、ぜひ一緒に挑戦してみませんか？

体験参加時のポイント・マナー

職場体験参加にあたっての注意事項やマナーをお伝えします！

高校生向け手引き掲載：体験参加にあたっての注意事項

- 感染症予防のため、手洗いうがい、手指の消毒の徹底！体調が悪い場合や感染の恐れがある場合には、参加を控える。
- 言葉づかいには気を付ける（園児の名前を呼び捨てにしない）。
- 体験初日には保育園の簡単なオリエンテーションがある。保育園の先生の説明をよく聞き、メモを取る。わからない点は積極的に質問する。
→保育中はペンを持ち歩けない場合もあるので、メモを取ってもいいか保育園の先生に確認が必要です。
- 携帯端末は電源を切る。又はマナーモードとし、体験中は使用しない、持たない。SNSで写真や個人情報の掲載は厳禁。
- 職場体験とはいえ、外部の方からは保育園の職員として見られる事もあります。登園や降園時には保護者の方にもしっかりと挨拶しましょう。
- 保育園の先生の指示に従う。わからない事や判断に迷う事は確認する。
- 園児の安全に努め、いつも笑顔で園児たちと楽しく過ごす。

その他

- 守秘義務
- 子どもの怪我などは自己判断せずに保育園の先生に伝える。
- 服装は動きやすく、装飾品などがついていないシンプルな物（装飾品が子どもを傷つけたり、誤飲の原因にもなります。）